

麻績村の教育方針に関する研究検討委員会「第16回子育て支援部会」議事録

日時 平成30年12月17日(月) 午後3:30～

場所 麻績村地域交流センター 2F 第3,4研修室

参加者 ・教育委員 塚原明水委員 ・教育委員 坂野かほり委員
・子育て支援担当保健師 升田久美子委員
・筑北中学校特別支援コーディネーター 峯村学委員
・麻績小学校特別支援コーディネーター 田中真由美委員
・麻績保育園保育士 滝澤玲子委員 ・住民課長 森山正一委員
・ひだまり担当職員 清水智香子委員 ・教育長 飯森力委員
・子育て支援コーディネーター 塩家正和委員 ・教育委員会職員 尾和正行委員

傍聴者 1名

事務局 : 定刻となりました。麻績村の教育方針に関する研究検討委員会、第16回子育て支援部会を始めさせていただきます。会を進めるにあたり、個人情報が多く出てきますので、情報の取扱いには十分ご注意くださいと思います。次第に沿って進めさせていただきます。部会長より挨拶をいただきます。お願いいたします。

委員 : 年末のお忙し時季にもかかわらずお集まりいただきましてありがとうございます。第16回目ということで長い間検討をしましてまいりましたが、大詰めに入ってきていると思います。そろそろまとめに入っていきたいと思いますので、忌憚ないご意見をいただきたいと思います。よろしく願いいたします。

事務局 : それでは、議事に移ります。ここからの進行につきましては、部会長お願いいたします。

委員 : 本日は4つの議題がございます。始めに(1)会議録の確認についてお願いいたします。

事務局 : 前回の会議録につきましては事前に委員の皆様にご配布させていただいております。確認いただく中で問題等ございましたら事務局までご連絡いただければと思います。今週末を目途にホームページにて公開していきますので、それまでに何かございましたらお願いいたします。

委員 : 何かご質問ご意見等ございますでしょうか。それでは、本日の会議について事務局から説明をお願いします。

事務局 : 始めに、本日の会議資料について説明させていただきます。本日の会議次第、その他にひだまりカレンダーと声かけ変換表という資料を用意させていただきます。

ましたので、ご確認ください。

また、これまでの子育て支援部会についてまとめさせていただきましたので、資料をご覧ください。課題として、「窓口の一本化と明確化」があります。現在、コーディネーターへ保護者から数件相談があり、保健師と対応をしております。更なる課題として、周知の拡大と保健師との連携の強化ということで、「こちらから出向いて周知を図ることも必要」という意見がございました。参観日やPTA総会等で周知する機会を増やしていきたいと思います。また、特別支援にかかわらず、全ての児童生徒へアプローチを強化し、窓口の一本化や明確化の周知をしていきたいと思います。

子育て支援連携協議会の課題として、「キッズサポート会議のアドバイザー」ということで保育園・小中学校のサポート会議に調査員として加わっていただき、アドバイスをいただいております。更なる課題として、継続的な支援や未就園児のサポート会議を開き、充実させていきたいと考えています。

ひだまり広場の課題として、保健師とコーディネーターがひだまり広場に入り、乳幼児の親子との関わりをもつようになっています。今年度から月に1～2回ですが、ひだまり担当者とカンファレンスの時間を設けております。部会からの要望として、次年度から作業療法士の先生に関わっていただく予定となっております。

委員：それでは、ひだまり広場の様子について、担当の先生から報告いただきたいと思います。

委員：ひだまり広場の資料をあわせて見ていただきたいと思います。ひだまりカレンダーのとおり、この12月までに誕生会と季節ごとの行事を親子で楽しみながら取り組んできました。11月末で延べ2800人の利用者がありました。現在は毎日10組程度の利用があります。「保健師さんやコーディネーターもいる」ということを周知させていただいています。チラシで周知もしており、そのチラシには「感染症が流行っている時はご家庭で休んでください」ということもお知らせしております。誕生日会は年4回の実施を予定しております。12月19日にはクリスマス会がございますので出し物等で親子で楽しい会にしたいと思います。「お母さんたちが楽しく育児ができるようにしたい」というのが第一です。課題としては、保育園に上がる2歳児さんがいるので保育園からの参観もしていただきたいと思います。ひだまりでも保育園に繋がるように保育園ごっこ等をし、保育園に行っても不安が無いようにしていきたいと思います。保護者の学びとして、保健師さんが月に1回講座を開いてくれますが、保護者から「料理を学びたい」、「英語を取り入れてほしい」という話もありますので、次年度に向けてアンケートを取りながら、無理のない範囲で取り入れて、保護者も安心できる場にしていきたいと思います。

要望になりますが、別のイベント等で駐車場がいっぱいになってしまうと小さい子どもを抱えて遠くから歩いて来る様子が見受けられます。「ひだまり広場の前の駐車スペースを 5~6 台分確保してほしい」という話がありました。雨や、これからは雪が降ることもありますので、そういう意見もあったということをご参考にしていただければと思います。

事務局 : ひだまり広場の利用が増えていますので、今後課題も多く出てくると思いますが、よろしく願いいたします。続いて、個別の指導計画・支援計画についてです。こちらにつきましては、麻績村独自の個別の指導計画・支援計画を作成し、次年度からそれらを基に支援を行っていくようになります。更なる課題として、利用する中で不都合等が出てきた場合に様式の見直しをしていきたいと思っております。また、データ管理の徹底をしっかりとしていきたいと思っております。次に、放課後児童クラブについてですが、放課後児童クラブについては、そのあり方について共通理解していくことが必要だと感じております。以上です。

委員 : それでは、何かご意見ご質問ございましたらお願いします。駐車場は、役場や交流センターで行事があると停めるところが無いです。ひだまり広場の利用者がどんどん増えていけば今利用しているスペースでは手狭になるかもしれないという問題もあります。

委員 : 子どもを 2 人連れてくる人は、遠くから歩いてくるのは大変なので何とかしたいのですが、難しいのは理解しています。

委員 : 場合によっては、村も含めて全体的に考える必要もあると思っております。その他にご意見等ございますか。無いようでありますので、次に進みます。事務局説明をお願いします。

事務局 : 前回、児童館についての話がありましたので、皆さんにご意見をいただいて前向きに進めていきたいと考えております。簡単に児童館について説明させていただきます。児童館とは、子どもの遊びを保障し、自主性・社会性・創造性を身につける所であり、基本的に登録制で毎日学校から直接来館する放課後児童クラブや午前中の親支援の幼児クラブ等から成るものです。施設の最低基準として設備は「集会室・遊戯室・図書室及び便所を設けること」となっています。職員は「児童の遊びを指導するものを置かなければならない」ということで「母子指導員」の資格を有するもの、また「小学校、中学校、高等学校、中等教育学校もしくは幼稚園の教諭となる資格を有するもの」となっております。

委員 : 児童館の説明について、補足していただきたいと思っております。

委員 : 児童館は、登録は必要ですが 0~18 歳まで自由に入れます。放課後児童クラブは小学生で有料です。未就園については、ひだまり広場のような所になります。児童館で一括してできれば交流として良いと思っております。ですが、児童館はお金を取らずにいつでも来てよくて、放課後児童クラブは有料ですので、それ

ぞれに職員がいないと管理ができなくなってしまう。児童館になれば、おみっこ元気くらぶのような活動を取り入れたり、土曜日も開かなければいけないかったりします。交流としては、子どもたちと一緒に遊ばせてあげたいですが、住み分けをどうしていくかが課題になります。職員の研鑽も必要です。児童館、放課後児童クラブ、未就園でねらいや目的、成長発達が違うので住み分けは難しいと思いますが、小さな村では合理的だと思うので理想だと思います。

委員：今後、子どもの人数自体は減ってくると思いますので、児童館のような全てが一緒の方がそれぞれの施設でやるよりも良いと思いますが、目的や理念、運営方法について皆で研究していった方がいいと感じます。

事務局：放課後児童クラブが児童館を兼ねるのもいいと話を聞いていて感じました。まずは、児童館ありきではなく、今あるところを充実させてからゆくゆくは児童館もというのが良いと思いました。

委員：ニーズがあるのかどうか、おみっこ元気くらぶ等も含めて検討していった方がいいと思います。

委員：おみっこ元気くらぶは、児童館事業そのものだと思います。

委員：児童館と子育て支援センターはどのような違いがあるのでしょうか。

委員：子育て支援センターは、0～6歳が対象になります。設置要綱にもよるとは思います。

委員：保護者や子どものニーズを考えて、児童館や子育て支援センター的なものの検討が今後必要だと思います。

教育長：小学校の方で、バス待ち児童の居場所が問題になっています。図書館でもバス待ちで図書館事業も手狭になってしまうという課題があります。放課後児童クラブの利用や図書館の事情も加味していただき研究していただければと思います。働き方改革で、長期休暇のあり方が変わるかもしれませんが、子どもの居場所づくりが重要になると思います。そういったことも頭に入れていただいて体制や組織づくり等も含め協議いただきたいと思います。

事務局：資料が無いところでの話し合いは難しいと思いますので、次回までにある程度の資料をまとめて、お示しさせて、どのような関わりをもてるのかというところを話し合ってくださいと思います。

委員：やり方は色々あると思います。前回の資料の「子育て世代包括支援センターの開設について」を見ていただきたいと思います。「母子保健型」ですと、保健センターが中心に行うものになりまして、「利用者支援型」は地域子育て拠点施設等ということでひだまり広場がそれになると思います。「母子保健型」と「利用者支援型」を一緒にしたものが「子育て世代包括支援センター」になりますので、その中で18歳までをみるといった組織ができてくるといいのかと感じました。この資料も参考になると思います。

委員 : その他によろしいでしょうか。それでは(4) 地域支援・地域支援員についてということで、今ボランティアで関わっていただいている地域の方も高齢化してきております。「継続が大変だ」という話も聞きます。このことについて、ご意見がありましたらお願いします。

事務局 : 私自身、信州型コミュニティスクールとして学校の水泳指導に入るということはありますが、学校での要望があるのかというところはお聞きしたいところです。

委員 : 米づくりやそば作りで地域の方に入っていたり、水泳指導に行ったりということはありません。十分にはコミュニティスクールとして動けてはいませんが、学校の方で要望がありましたら対応していきたいと思います。

委員 : 家庭科でミシンを教える時に担任の先生一人で教えるのは大変なので、そこだけでなく、そういうところのお手伝いに入っていただけるとありがたいです。

委員 : 昔の遊びの会の方は、何名いらっしゃるのですか。

事務局 : 20名程です。

委員 : 有償ボランティアですか。

事務局 : 金額は多くありませんが、団体に謝礼をお支払いしています。

委員 : クラブについても、外部の方に入っていただけるとありがたいです。

委員 : 村民の方も中学校の部活動は知っているが、小学校のクラブ活動にどんなものがあるというのは知らないと思います。情報を発信していくことも必要だと思います。

事務局 : 茶道クラブは、観月苑の方に入っています。どういった経緯ですか。

委員 : 学校の先生から話があり、関わることになりました。私も、小学校のクラブ活動にどんなものがある、どんな方が必要かを知らないで、発信していくことは大事だと思います。大豆の学習では、担任の先生から保護者をお願いしていますが、あまり人が集まらないという話も聞きますので、そういうところに地域の方に入っていただくというのも良いと思いました。

委員 : 情報をいただいて繋いだり、広報を利用したりということもしていければと感じます。学校の状況をよく理解している方がコーディネーターになってもらうと良いと思います。その他にご意見ございますか。よろしいですか。それでは、4番の次回検討事項に移ります。次回の検討事項として、先ほどの児童館のことについての資料を用意して話し合いをしていただきたいと思います。その他に事務局からお願いします。

事務局 : 資料に「声かけ変換表」というものを用意させていただきました。こちらは、あそびの教室でいただいたものになりますが、皆さんもいろんな場所でコラム等を目にする機会があると思います。その中で、保護者の方に伝えたいことや

メッセージがありましたら、お持ちいただいて集約させていただいて、子育て支援部会として保護者へのメッセージのようなものを発信できればと考えております。今回の資料は、すでにひだまり広場で周知させていただいておりますが、各方面からのものを持ち寄って、一つにまとめて発信していければと考えていますので、ご意見いただければと思います。

委員：今の提案についてご意見いただけますか。

委員：研修等でいただいた資料等を持ち寄るとのことですか。

事務局：資料でもいいですし、伝えたいことがあれば書いていただいてもいいです。

委員：子育てかわら版のようなものを発信できればということですね。

事務局：「〇〇していきましょう」みたいなことを発信できればいいと思っています。

委員：ひだまり広場では、どんなことを発信していますか。

委員：月の予定や感じたこと、感染症の情報等も載せて、宣伝をしています。子育て支援部会で発信していくものは18歳までを対象にしたコラム等ですか。

事務局：そうです。

委員：それはあっても良いと思います。情報発信していくことは必要だと思います。

委員：ひだまり広場はチラシの配布以外に伝えることはしていますか。

委員：配布して、チラシの読み合わせをしています。朝会がありますので、その時に話をしています。

委員：「読んでください」とするよりも伝えていくのが大事だと思います。その他にご意見ございますか。無いようでありますので、次回の予定に移ります。

事務局：次回の日程につきましては、平成31年2月28日木曜日15時30分から地域交流センター2階のこちらの会場で行う予定とさせていただきます。よろしくお願いたします。

以上で、麻績村の教育方針に関する研究検討委員会「第16回子育て支援部会」を閉会とさせていただきます。ありがとうございました。